

平成28年度 事業の報告

- 1 環境にやさしい「京都エコ修学旅行」について 【資料4参照】
- 2 「京都市ごみ半減・ここみアプリ」について
- 3 啓発マンガ『恋する京都』及び動画について
- 4 京都マラソンにおけるリサイクル資源を活用した
優勝メダル制作に関する協定締結式について
- 5 バイオマスポリエチレン（サトウキビの非可食部等から生成）
を活用した京都市家庭ごみ有料指定袋の試行実施について



12月1日から
配信スタート！！



平成28年11月17日
京都市環境政策局

〔担当：循環型社会推進部ごみ減量推進課〕
TEL：213-4930

「京都市ごみ半減・こごみアプリ」の配信について

京都市では、市民、事業者の御理解・御協力の下、2R（リデュース・リユース）と分別・リサイクルの促進の2つを柱とした、ごみ半減をめざす「しまつのこころ条例」を制定し、これを具体化した「新・京都市ごみ半減プラン」を推進しています。

この度、ごみの減量や分別・リサイクルについて、市民の皆様により一層の関心を持っていただき、行動していただけるよう、家庭でのごみの減量や分別に役立つスマートフォンアプリ「京都市ごみ半減・こごみアプリ」の配信を開始しますので、お知らせします。

記

1 アプリ機能について

(1) ごみの出し方・回収拠点検索機能

- ごみの出し方検索

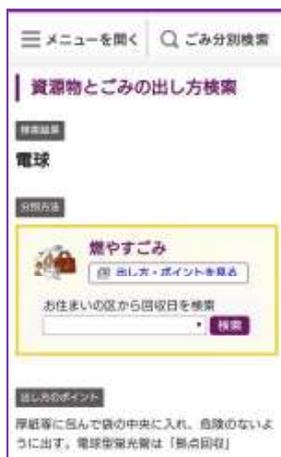
ごみの種類を入力していただくことにより、出し方を検索することができます。

- 収集日カレンダー

お住まいの地区を登録していただくことにより、ごみの収集日をカレンダーに表示します。収集日の前日又は当日には、ごみの出し忘れ防止のためのアラーム通知を鳴らすことができます。

- 資源物回収拠点マップ表示

お住まいの地区を登録していただくことにより、近くの資源物回収拠点をマップ上に表示します。



<ごみの出し方検索>



<収集日カレンダー>



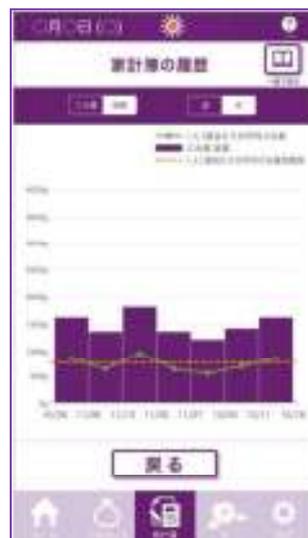
<資源物回収拠点マップ>

(2) ごみ減量家計簿機能

ごみ袋の使用枚数、大きさ、詰め込み具合をごみ収集日ごとに家計簿に入力していただくことにより、本市のごみ減量の目標に対する利用者の実績やごみ袋に係るコストを評価することができます。



<家計簿入力完了画面>



<ごみ減量家計簿>

(3) ダイエットチャレンジ・資源物クイズ機能

・ ダイエットチャレンジ

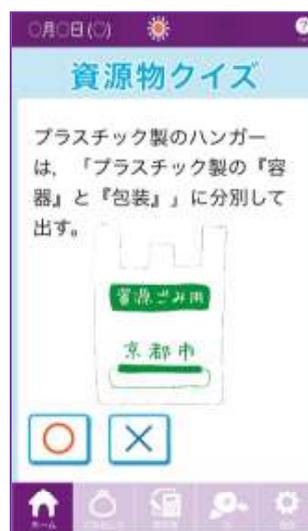
ごみ減量につながるチャレンジ課題を週替わりで出題し、ごみ減量行動に取り組んでいただくきっかけを提供します。

・ 資源物クイズ

身近なごみの出し方等に関するクイズを毎日3問出題し、ごみの分別や減量について楽しく学んでいただけます。



<ダイエットチャレンジ>



<資源物クイズ>

(4) こそみちゃんの花機能

家計簿機能，ダイエットチャレンジ・資源物クイズ機能を利用していただくことにより，アプリの画面上で花が成長・開花し，取組の積み重ねを見える化します。



(5) グループ共有機能

家族や地域のグループで家計簿データやダイエットチャレンジを共有することにより，共同してごみ減量に取り組むことができます。

(6) 新着情報のプッシュ通知機能

ごみ減量に関する本市の取組やイベント情報等について，プッシュ通知によりお知らせします。



<グループ共有イメージ>

2 「京都市ごみ半減・こそみアプリ」ウェブページについて

京都市ごみ減量・分別リサイクル総合情報サイト「京都こそみネット」において，本アプリのページを設け，アプリの利用者全員が開花させた花を「みんなの花畑」として，減らしたごみの量や削減CO₂量と合わせて公開し，利用者全員の取組を見える化します。



【京都こそみネット】

<http://kyoto-kogomi.net/>

3 配信開始時期

平成28年12月1日（木） 正午頃

4 アプリの取得方法

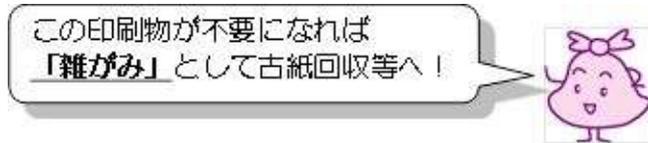
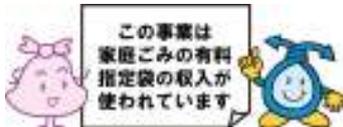
「App Store」又は「Google play」から【**ごみアプリ**】で検索

ごみアプリ **検索**

5 問合せ先

京都市環境政策局ごみ減量推進課

電話：213-4930 FAX：213-0453





ごみ減ひと目でスマートに

京都市アプリ配信

家庭ごみの分別や減量に楽しみながら取り組んでもらおうと、京都市はスマートフォン向けアプリ「ごみ減・ごみアプリ」を開発し、今月から配信を始めた。収集日のカレンダー表示や、出したごみの量を記録してグラフで確認できる機能を搭載。課題やクイズを出題し、達成度に応じて画面内で花が育つ仕組みも盛り込んだ。

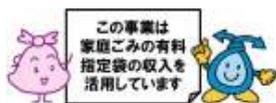
【お読みください】
（池沢太一）

課題提案やクイズも

市はより一層、ごみ減の比較や、目標達成への目標設定の受け入れ態をピークとした00年度の総方針から20年度に30万トへと半減させる目標を設定。15年度は44万トまで減ったが、達成には、より多くの市民に積極的に取り組んでもらう必要があるとして、アプリを導入することにした。

アプリにごみの種類と居住地域を入力すると、収集日のカレンダーや実際のごみの回収場所の地図をそれぞれ表示できる。ごみの出し忘れを防止するアラームを設定することもできる。ごみ出しの量、ごみ袋の大きさや枚数、詰め込み具合を入力すると、平均値と

目標値を比較し、達成度に応じて花が育つ仕組みも盛り込んだ。13日時点でアプリのダウンロード数は7万件。市ごみ減推進課は「アプリで成果を実感しながら、楽しく長く努力を続けてほしい」としている。



平成29年1月26日
京都市環境政策局

担当：循環型社会推進部ごみ減量推進課
TEL：213-4930

～ごみ半減をめざす「しまつのこころ条例」～

啓発マンガ『恋する京都』及び動画の作成・配信について

京都市では、市民、事業者の皆様の御理解・御協力の下、2R^{*}とごみの分別・リサイクルの促進の2つを柱とした、ごみ半減をめざす「しまつのこころ条例」を制定し、これを具体化した「新・京都市ごみ半減プラン」を推進しています。

※ ごみになるものを作らない・買わない「リデュース（発生抑制）」・繰り返し使う「リユース（再使用）」

この度、条例の周知啓発の一環として、大学生など若年層の2Rやごみの分別・リサイクルに関する意識を高めることを目的に、啓発マンガ及び動画を作成し、配信しますのでお知らせします。

記

1 啓発マンガについて

- (1) タイトル：『恋する京都 ～ごみ半減をめざす「しまつのこころ条例」啓発マンガ～』
- (2) ストーリー：留学生のボブが同じ大学のルミと交流しながら、2Rとごみの分別・リサイクルの取組について学んでいくストーリー。
なお、マンガの作画は京都造形芸術大学マンガ学科の長谷川楓さんによるものです。
- (3) 構成：マンガによるストーリーと京都市のごみの現状や条例の内容等をコンパクトにまとめた情報欄により構成
- (4) 冊子仕様：A5サイズ，24ページ
- (5) 配布開始日：平成29年1月27日（金）
- (6) 配布場所：ごみ減量推進課及び各区役所・支所内エコまちステーション
また、市内大学と連携して、新入生ガイダンス等でも配布します。
- (7) その他：啓発マンガは、京都市ごみ減量・分別リサイクル総合情報サイト「京都ごみネット」(<http://kyoto-kogomi.net>)内「各種ダウンロード」のページからダウンロードできます。



2 動画について

- (1) 内容：マンガのストーリーを映像化したもの
- (2) 配信開始日：平成29年1月27日（金）
- (3) 公開場所：「京都ごみネット」(<http://kyoto-kogomi.net>)
- (4) 再生時間：約10分





外 京 中 洛
◆京都市は、
学生らに「こみ分
別やリサイクル
推進を呼び掛け
る漫画「恋する京都」を
作成した。市内の38大
学を通じ、4月に入学する

新入生らに無料で配る。

◆若者が手に取って読ん
でもらいやすいよう、漫画
形式の冊子を考案。年代の
近い京都造形芸術大マンガ
学科4年の長谷川楓さん
(22)が手がけた。

◆漫画は市内在住の女子
学生が、京都に住み始めた
男子留学生に、こみ分別の
ルールを教え、買い物時の
こみ発生を抑えるようマイ
バッグの持ち歩きを促す内
容。A5判24ページ、万部。
区役所でも配る。

(日山正紀)

(広報資料)



平成29年2月1日
京都市環境政策局
循環型社会推進部ごみ減量推進課
電話 213-4930

京都マラソンにおけるリサイクル資源を活用した 優勝メダル制作に関する協定締結式について

京都市では、ピーク時からのごみ半減に向けて、市民、事業者の皆様の御理解・御協力の下、2R（リデュース・リユース）と分別・リサイクルの促進の2つを柱としたごみ半減をめざす「しまつのこころ条例」と、これを具体化した「新・ごみ半減プラン」を推進しております。

その取組の一環として、資源循環・リサイクルを見える化し、ごみの減量、リサイクル意識の向上を図るため、全国で初めて、市民の皆様により排出された使用済小型家電から回収した「金」を100%使用した、京都マラソン2018の優勝メダルの制作に取り組みます。

この度、本取組に御協力いただく団体、事業者と協定を締結しますので、お知らせします。

記

1 協定締結式

- (1) 日 時 平成29年2月10日（金） 午後1時15分～午後1時45分
(2) 場 所 京都市役所 3F 第一応接室
(3) 内 容 協定書の締結、記念撮影等

2 出席者

(1) 協定締結者及び事業での役割

団 体 名	役 職	氏名（敬称略）
京都市 役割：小型家電の回収，メダル制作事業の取りまとめ	京都市長	門川 大作
京都マラソン実行委員会 役割：京都マラソン2018に向けたメダルの意匠制作・本体製造	委員長	粕田 正義
地方独立行政法人 京都市産業技術研究所 役割：リサイクル金を用いた金めっき加工技術の開発及びメダルのめっき加工	理事長	西本 清一
株式会社アステック入江 役割：リサイクル事業者（資源の抽出等）	代表取締役 社長	高橋 正幸

(2) 立会人

団 体 名	役 職	氏名（敬称略）
国立研究開発法人 物質・材料研究機構	特命研究員	原田 幸明

3 問合せ先

〒604-0924

京都市中京区河原町二条下ルー之船入町384番地 ヤサカ河原町ビル8F

京都市環境政策局循環型社会推進部ごみ減量推進課

廃棄物企画担当 新島，臨

(電話) 075-213-4930 (FAX) 075-213-0453

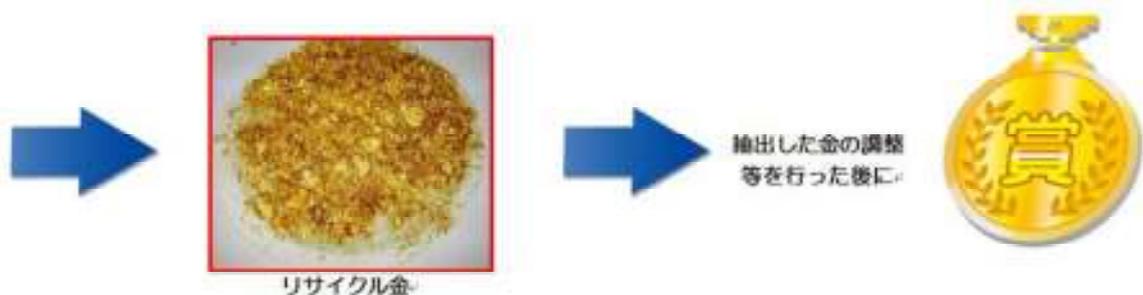
(電子メール) junkan@city.kyoto.lg.jp

【参考1】事業イメージ



小型家電回収（京都市）

解体・リサイクル・金の抽出（株式会社アステック入江）



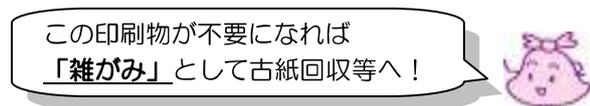
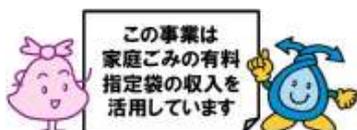
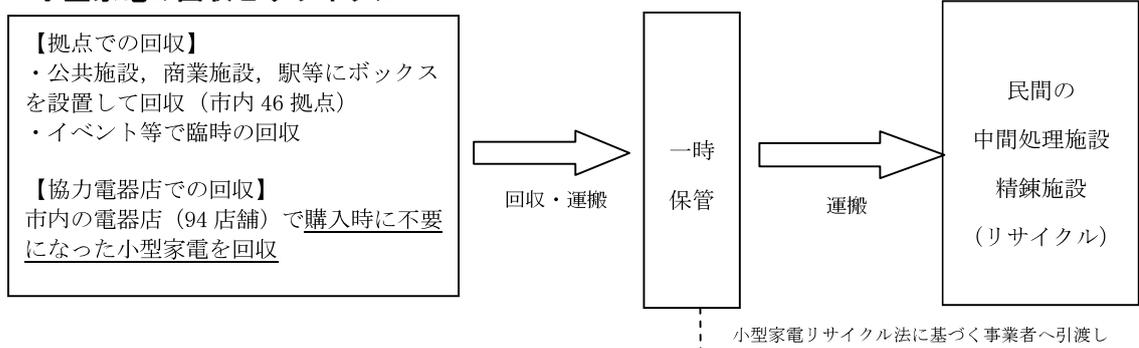
メダルのめっき加工（京都市産業技術研究所）

【参考2】本市の小型家電リサイクル事業について

○ 小型家電回収量の実績

	25年度	26年度	27年度	28年度 (12月末時点)
回収量（トン）	23	24	111	108

○ 小型家電の回収とリサイクル



29.2.11(土)

第3種郵便物認可

京都新聞(朝刊)

第17

第17



京都市内で19日に開催される「京都マラソン2017」で、レース中にランナーへ提供されるスポーツドリンクや菓子、パンなどの残り分を、生活困窮者や福祉施設などに届ける取り組みが実施される。同マラソン実行委員会事務局は「環境に配慮し、余った食品を有効に活用していきたい」としている。

ランナーに提供の菓子やパン 余った食品有効に

また食べることもできる食品であるにもかかわらず、廃棄されてしまう「食品ロス」は年間、国内で600万トンにも及ぶとされる一方で、日々の食事にも困る人たちが増えている。



京都マラソンでランナーに提供されるバナナ、余ったものはフードバンクで有効活用されることになった(2017年3月11日、京都市北区)

フードバンク通じ 困窮者や福祉施設へ

矛盾が、社会的な課題として指摘されている。近年、ロスとなる食品を幅広く無償提供して困窮者たちの支援につなげる「フードバンク」の活動が広がりを果たしており、今回も京都でフードバンクの活動を行う2団体を通じて提供するという。

京都マラソン実行委員会事務局によると、飲食物は協力企業の提供でランナーに配っているが、これまで余った分は廃棄していた。「環境に配慮した大会」を目指す理念に迫って、協力企業にも理解を得ながら検討を重ねた。「全国のマラソン大会でもあまり例がないのではないか」としている。

今回は、パン、果物、菓子、飲料水など16種類の飲食物が、各給水所で配られる。大会終了後に余った食品や飲料水を回収し、賞味期限に問題があるものを除いて、フードバンク活動に取り組み。「セカンドハーベスト京都」(下京区)と「フードバンク京都」(南区)に譲り予定。2団体が支援する京都市内の児童福祉施設や困窮者支援団体などに提供される。

セカンドハーベスト京都の澤田政明代表(50)は「供給元は一部の外資系の企業に頼っているのが現状。食品ロスを有効活用したい」と話す。同事務局によると、来年の大会でも取り組みを続けるという。

(山下 悟・佐藤知幸)

「環境配慮の大会」京から疾走!

小型家電から金メダル 五輪に先駆け来年から

京都市は10日、ごみとして捨てられる小型家電に含まれる金をリサイクルし、来年から京都マラソンの優勝者のメダルにして贈るため、マラソン実行委員会や協力企業と協定を交わした。リサイクル金属のメダル作製は2020年東京五輪・パラリンピックでも検討されているが、京都マラソンでは先駆けて取り組む。

リサイクル金メダルは計3個を作り、18年から、総合男女と重いす競技の優勝者に贈る。市が公共施設や

実行委と協力企業が協定



リサイクル金をメッキ加工した金メダルの試作品(左)―京都市中京区・市役所

電器店で回収している携帯電話やデジタルカメラといった小型家電から、独自技術を持つアステック入江(北九州市)が純度の高い金を取り出す。さらに、メッキ加工を研究開発する京都産業技術研究所(下京区)が、電気反応による特殊な技術でメダル1個当たり1〜2%の金を表面に加工し、廃食せず光沢のある「金メダル」に仕上げる。

中京区の京都市役所で協定式に臨んだ門川大作市長は「『都市鉱山』とも呼ばれる小型家電の金をメダルに使い、環境先進都市らしい発信につなげたい。東京五輪でもメダルに利用されるよう機運を盛り上げたい」と話した。今月19日の大会では、従来の金色メッキを施したメダル(真鍮7:5%)を用いる。(日山正紀)

協定締結式の様子（平成29年2月10日（金））



(お知らせ)



平成29年2月7日
京都市環境政策局

〔担当：循環型社会推進部ごみ減量推進課〕
電話 213-4930

バイオマスポリエチレン（サトウキビの非可食部等から生成）を活用した 京都市家庭ごみ有料指定袋の試行実施について

この度、地球温暖化対策に関する人類史上初の国際的な約束である「京都議定書」が誕生して20周年の節目を迎えるに当たり、温室効果ガスの削減及び市民の皆様の環境意識の向上に向け、家庭ごみ有料指定袋の原料の一部（10%）に、バイオマス*から生成されるバイオマスポリエチレン（サトウキビの非可食部等から生成）を使用する取組を試行実施しますのでお知らせします。

なお、家庭ごみ有料指定袋でのバイオマスポリエチレンの活用は、政令指定都市で初めての取組となります。

※バイオマス：生ごみ、木くずなどの動植物から生まれた再生可能な有機性資源。燃やすと二酸化炭素が排出されるが、樹木が成長する際に光合成によって大気中から吸収した二酸化炭素が大気中に排出されるものであり、差し引きゼロ（カーボン・ニュートラル）とみなすことができる。

1 試行実施の概要

(1) 実施開始日

平成29年6月～

（2月中に実施予定の競争入札で発注（5月末納品））

(2) 種類・数量等

ア 有料指定袋の種類及び数量

・燃やすごみ20L 150万枚（約1箇月分）

・資源ごみ20L 75万枚（約1箇月分）

イ バイオマスポリエチレンの混合率

10%

なお、有料指定袋に、環境に配慮した製品であることを表記します。

(3) 販売

協力が得られた指定袋取扱店で当該有料指定袋を販売し、取扱店から市民の皆様のお声等について聞き取り調査を行います。

(4) 試行実施によるCO₂排出量の削減効果（試算）

約20t

2 今後の予定

今回の試行実施における品質や販売状況，また，経費やCO₂排出量の削減効果等を検証し，平成29年秋頃に入札を予定している有料指定袋製造分からの本格実施について検討します。

【参考】地球温暖化対策におけるバイオマスプラスチックの位置付け

1 国

COP21 で採択されたパリ協定等を踏まえ，平成28年5月13日に閣議決定された「地球温暖化対策計画」において，温室効果ガスの排出削減対策・施策として，バイオマスプラスチック類の普及を位置付けている。

（対策評価指標：国内出荷量2030年度197万t，2013年度実績7万t）

2 本市

現在，改訂作業中の京都市地球温暖化対策計画において，具体的取組として，「有料指定袋へのバイオマスポリエチレンの活用」を位置付け，石油由来のプラスチックの焼却に伴うCO₂排出量を削減するため，原料に植物由来であるバイオマスポリエチレンを活用した家庭ごみ有料指定袋の製造・販売を試行実施し，その効果を検証したうえで，活用の拡大に向け検討していくこととしている。

この印刷物が不要になれば
「雑がみ」として古紙回収等へ！



温暖化対策新ごみ袋

京都市は7日、家庭ごみを捨てる有料指定袋に、植物由来の素材を取り入れる方針を明らかにした。サトウキビを原料に精製するバイオマスポリエチレンを10%配合した「燃やすごみ」資源ごみ用の各20リットル袋を6月から約1カ月分、試行販売する。原料の石油使用を減らすことができ、約20リットルの温室効果ガス排出削減を見込む。2018年中に、全9種類ある有料指定袋で本格実施を目指す。店頭での販売価格は据え置く。

植物素材を10%配合

市の有料指定ごみ袋はポリエチレンで、15年度は年間8200万枚を販売した。原料は石油で、燃焼に伴う二酸化炭素の発生が温暖化につながる。植物は成長時に二酸化炭素を吸収するため、燃焼しても温室効果があると思われない。

試行では、市民に最も使われている20リットルの1カ月分にあたる225万枚分（燃やすごみ150万枚、資源ごみ75万枚）を植物由来の原料を含む物に替え、6月以降、市内にある特定のスーパーやコンビニで売出す。

プラスチックでサトウキビ加工の廃液やかすから精製した原料を10%配合

する。ごみ袋の製造経費は、従来品より3%高いが、原油安や入札を通じて、ほぼ同額に抑えられるという。販売価格は袋1枚当たり1円（資源ごみは0.5円）の現状を維持する。

強度や色合いも従来品とほぼ変わらないが、民間の研究機関に品質検査を依頼する。経費や温室効果ガスの削減効果を検証し、原料の配合割合を決め、今年秋にも製造業者を選ぶ。市ごみ減量推進課は「植物由来の原料を配合したごみ袋は、政令指定都市で初めての取り組み。京都議定書誕生20年の節目に合わせ、温暖化対策とごみ減量に力を入れたい」としている。（日山正紀）